

アーティスト・映画監督としてご活躍されている荒木悠さんをお招きし、歴史とフィクションを組み合わせることについての考えを中心に、リサーチの経験など広く制作についてお話をお伺いします。また、レクチャー前には荒木さんにセレクトいただいた4作品を紹介上映いたします。ぜひご参加ください！

主催：秋田公立美術大学複合芸術研究科

大学院「複合芸術演習」特別講義

荒木悠さん

レクチャー＋上映会

7 / 7 (木)

16:10 - 19:10

場所：

大学院生棟 G1S 対面講義（定員 40 名）
＋レクチャーのみ ZOOM 配信（17:45～）
※荒木さんは ZOOM での参加となります。

対象：

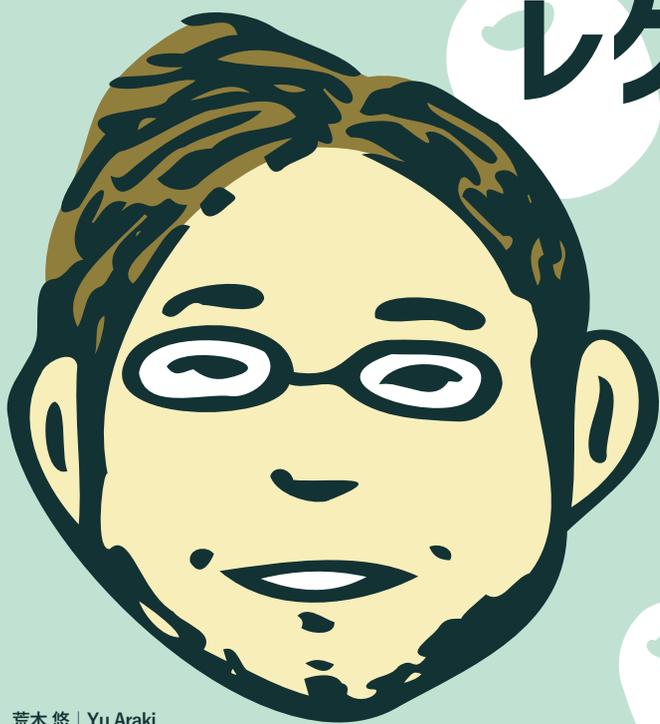
秋田公立美術大学 学生
大学関係者

申し込み〆切：6/18 まで

下記のフォームからお申し込み下さい。
オンラインでの参加は申し込み必須です。
対面講義は予約優先、空きがあれば当日参加可です。

上映作品：「物語ること」を巡ってのセレクト

- ①ANGELO LIVES（14分）2014年
- ②利未記異聞 WRONG REVISION（15分）2016年
- ③利未記異聞（インタビュー）WRONG REVISION (Interview)（5分）2016年
- ④蜜月旅行 HONEYMOON（30分）2020年



荒木悠 | Yu Araki
アーティスト・映画監督

1985年山形県生まれ。文化の伝播や異文化同士の出会い、またその過程で生じる誤解や誤訳の持つ可能性に強い関心を寄せている。特に、近年手掛けている映像インスタレーションでは、歴史上の出来事と空想との狭間にある物語を編み出し、再演・再現するような手法を展開している。近年の主な個展に「SWEET ROOM」(RC Hotel 京都八坂 / 京都、2022)、「双穀綱：第二幕」(無人島プロダクション / 東京、2022)、「約束の凝集 vol.4 荒木悠」(gallery αM / 東京、2021)、「三泊五日」(板室温泉 大黒屋 / 栃木、2021)、「ニッポンノミヤゲ」(資生堂ギャラリー / 東京、2019年)など。これまで国立国際美術館、ポーラ美術館、アートソング・センター、ジョアン・ミロ財団でのグループ展に参加。第5回 Future Generation Art Prize フェイナリスト。映画監督としてチューリッヒの第20回 Videoex でグランプリ、第47回 ロッテルダム国際映画祭にてタイガーアワードを受賞。

予約用 申し込みフォーム
※〆切 6/18 まで

事前質問を受け付けております。
荒木さんに事前にお伝えしますので、
ぜひご記入ください。



マスク着用の上ご来場ください。
記録撮影・録音はご遠慮ください。

企画：山本夏綺、勝又英、劉軒慧（複合芸術研究科1年）
お問い合わせ：s228011@akibi.ac.jp

上映作品：「物語ること」を巡ってのセレクション



《ANGELO LIVES》

2014年



上映会

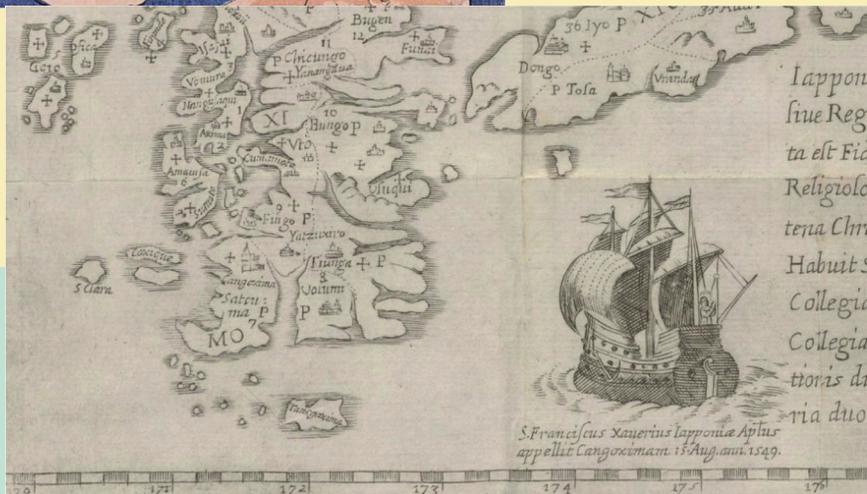
16:10 -

《利未記異聞 WRONG REVISION》

2016年

7/7 (木)

@大学院生棟 G1S



《蜜月旅行 HONEYMOON》

2020年



作品写真：作家提供